



豊田PCB廃棄物処理 事業だより(No.125)

1. 地域協議会の開催

●地域協議会とは？

本協議会は、平成25年度にJESCO豊田事業所の周辺自治区の皆様への更なる情報公開の推進を目的に設置しました。

対象地域は、樹木、三軒屋、広久手町、広久手、本地新田、深田山、土橋の7自治区です。



今年度は8月27日(水)に対象地域の7自治区の区長の皆さま、豊田市から環境保全課長及び廃棄物対策課長にご出席をいただき、6月に変更認可された当社の事業基本計画や操業状況等について報告させていただきました。

また、会議の後には、施設のご見学と防護服等の試着体験をしていただきました。

2. PCB廃棄物保管事業者(少量)の皆さまに対する説明会について

豊田PCB廃棄物処理施設では少量保管事業者(保管台数が20台未満の事業者)の皆さまにPCB処理に関する説明会を定期的に行っています。8月は20～21日に名古屋市で説明会を開催し、2日間合わせて72社の事業者の方々にご出席いただきました。

さまざまな規模で保管されているPCB廃棄物の処理を着実に推進するため、今後も定期的に少量保管事業者の皆さまに向けた説明会を開催していきます。



PCB処理事業紹介シリーズ 第8回

今回は豊田PCB廃棄物処理施設の排気処理設備と排出環境モニタリングについてご紹介します。

排気処理設備

施設内は管理区域毎に負圧管理され、PCBを含むガスが漏れ出すことがないように対策がなされています。

PCBを含む排気は排気処理装置においてPCB除去を行った後、更にセーフティネットである活性炭吸着槽を通してから、施設外に排出されます。

排気はオンラインモニタリング計で監視され、万一基準値を超えるPCBガスが含まれていた場合も屋外に流出することがないように活性炭吸着槽を2槽直列に設置しています。



排気処理装置(送風機)



活性炭カートリッジ交換作業

活性炭(カートリッジ)の交換

活性炭吸着槽の活性炭はセーフティネットとしての機能を維持するため、一定期間毎に交換しています。

活性炭交換後は、ユニットの取り付け状態の気密検査、排気測定を実施し、異常の無い事を確認します。

施設内にはエリアに応じた排気システムがありますが、すべての活性炭吸着槽は、多重の安全対策を構成する重要なセーフティネットのひとつとして管理しています。

排出環境モニタリングの実施

活性炭吸着槽を通して処理施設から排出される排気ガスの中に、基準値を超えるPCBやダイオキシン類、ベンゼンなどの有害物質が含まれていないことを確認する必要があります。

豊田施設では、常時行っているPCBのオンラインモニタリングに加え、年4回排気の排出モニタリングを外部の分析機関に委託して詳細な排気測定を実施しています。



排気測定実施の様子

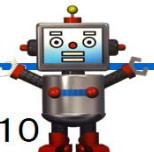


アザランのピーちゃん

問い合わせ先

日本環境安全事業株式会社(JESCO) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>



デンジュ